

*** Nora Virtual Repeater Server (頒布品) の各種設定値を変更する ***

1. 内部 AMBE ポート番号の変更

旧バージョンでは、NoraVR_Config1.exe 及び NoraVR_Config2.exe を使って内部 AMBE ポート番号を変更することは出来ません。変更には下記の①及び②を行う必要があります。今回のバージョン UP (2020/09/09 更新)

NoraGateway_v0.1.6a-PR12_VR_Server_V8.20.zip

NoraGateway_v0.1.6a-PR12_VR_Server2_V9.06.zip で変更可能になりました。

上記新バージョン以降では、下記の②を変更すれば内部 AMBE ポート番号が変更されます。

① 下記ファイルの該当部分を、Tera Term 等を使用して変更する必要があります。

初期設定値 IP:192.168.1.150 USER:pi PASSWORD:raspberrypi SSH:22

AMBEserver の自動起動用の設定ファイルである、

/etc/systemd/system/AMBEserver.service の、

ExecStart=/usr/bin/AMBEserver -d -i /dev/ttyUSB0 -p 2465 -s 460800 の

2465 を変更したいポート番号に変更します。(変更範囲は、2400-2499 として下さい)

pi@nanopim1:~\$ sudo nano /etc/systemd/system/AMBEserver.service



② なお、上記を変更した場合に VR サーバーとして使用する場合は、



NoraVR_Config2.exe の PORT 番号を変更後の番号に変える必要があります。

新バージョンの、
VR_Server_V8.20.zip
VR_Server2_V9.06.zip 以降では、
ここを変更すれば、
内部 AMBE ポート番号が変更されます。
(変更範囲は、2400-2499 として下さい)

2. NoraVR 複数設置時の変更（複数設置した場合の 2 台目以降に適用する）

同じ LAN 環境内に複数設置する場合には、

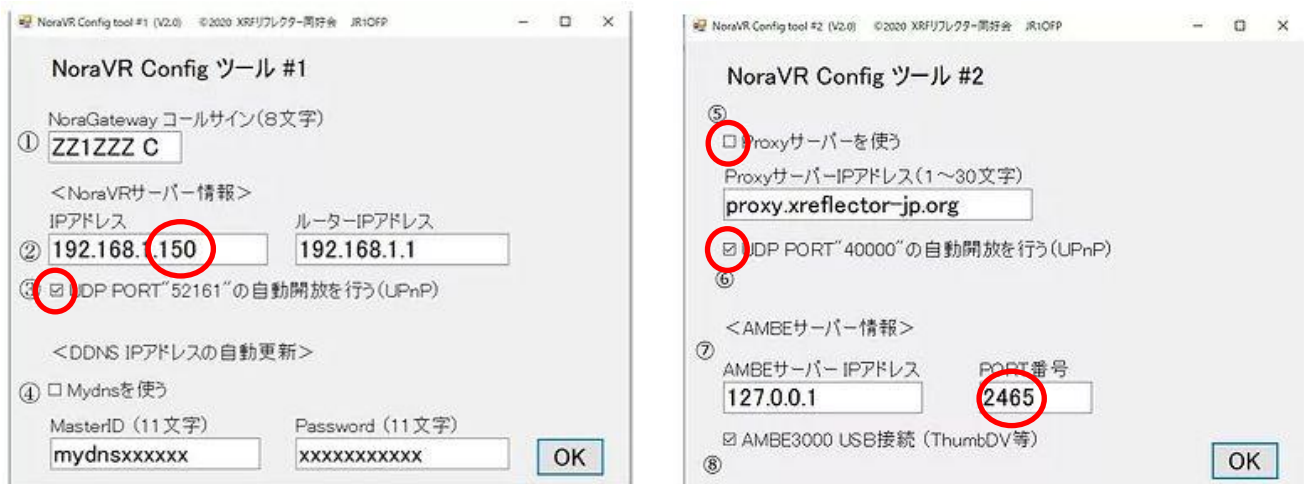
- ① それぞれの IP アドレスを違える（変更後の IP アドレスの下記②③のポート開放）
- ② DV3KServerPort 番号 2465 を違える（変更後の番号での UDP ポート開放）
- ③ NoraVRPort 番号 52161 も違える（変更後の番号での UDP ポート開放）

が必要です。

また、「UDP PORT”52161”の自動開放を行う(UPnP)」と「UDP PORT”40000”の自動開放を行う(UPnP)」の項目は「**使用しない**」に設定にし、「Proxy サーバーを使う」の項目は必ず「**使用する**」に設定してください。（上記②③の UDP PORT は手動開放して下さい。

また、Proxy を使用すると PORT 40000 の開放は必要とせず、設置台数に関係なく JARL レピータに対して各々独立して総ての動作が可能です。）

① ②の参考用画面（注 変更前の状態です。）



③ NoraVRPort 番号の変更

NoraVRPort 番号の変更は、fat32 ディレクトリの中での NoraGateway.txt ファイルを編集します。（下記の該当ヶ所はずっと下方にありますので探してください！）

⑥NoraVR(v0.1.5alpha 以降)

ネットワーク経由で仮想レピータを形成します(VR=VirtualRepeater)

の設定項目中に NoraVRPort の設定ヶ所があります。（注）下記は一部を省略し表示しています。

```

<Modem type="NoraVR" allowDIRECT="false">
<ConfigurationProperties>
<DV3KInterfaceType>Network</DV3KInterfaceType>
<DV3KServerAddress>127.0.0.1</DV3KServerAddress>
<DV3KServerPort>2465</DV3KServerPort> ←（前頁の操作で変更済み！）
<NoraVRPort>52161</NoraVRPort>
<NoraVRClientConnectionLimit>100</NoraVRClientConnectionLimit>

```

【番外編】

Nora Virtual Repeater Server の AMBE を使用して BlueDV AMBE で YSF や DMR を運用した場合に、その後 NoraVR クライアントを使用すると音声は非常に大きくなる現象が発生します。

これを回避するには、BlueDV AMBE で YSF や DMR を運用した場合には、必ず一度 XRF で任意のリフレクターに接続してアナウンスを聞いて終了してください。

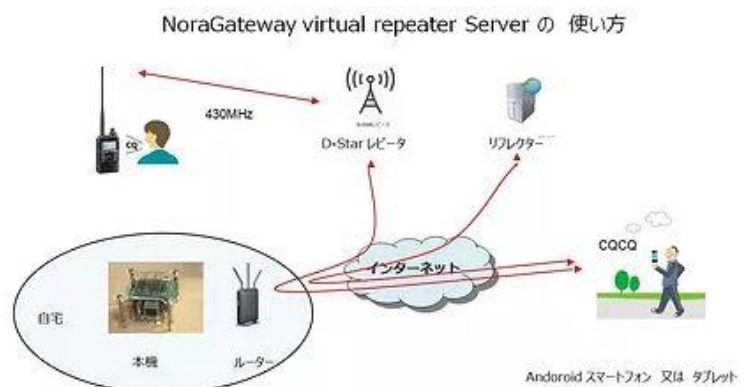
これを行うと、NoraVR クライアントを次回使用した場合に音声は正常な音声レベルで使用できます。

上記の方法でも復旧出来ない場合には、当該 Nora Virtual Repeater Server サーバーを再起動してください。

(注) スマホの 4G 回線で BlueDV AMBE を使用するには、サーバー側での AMBE PORT (例 2465) の開放が必要です。

JA1COU 局のホームページから転載

アンドロイドスマートフォンでレピータとリフレクターQSOを楽しもう！
Nora Virtual Repeater Server



詳細はこちらをご覧ください。 → <https://ja1cou.wixsite.com/ja1cou/ambe-1>

【最新バージョン】

Nora Virtual Repeater Server (Server V8.20 Server2_V9.06) 内部 AMBE ポート番号変更対応
<https://drive.google.com/drive/folders/1RMzm2pHV5U96oPDVqh-JRCfof3zDwLzA?usp=sharing>

| | | |
|-------------------------|--------------------|---------------|
| BlueDV for Windows | Version 1.0.0.9589 | JAPANLINK 対応 |
| BlueDV AMBE for Android | V1.0.92 | JAPANLINK 対応 |
| NoraGateway | ver.0.1.6a-PR12 | ダッシュボード改善対応等 |
| ExternalConnector | ver.0.1.8a | 複数ルーム併設対応等 |
| NoraVR Client | ver.1.0.14 | タッチ PTT 操作対応等 |

【更新履歴】

| | | |
|------------|-----------|-------------|
| 2020/09/06 | ver.1.0.1 | 新規作成 |
| 2020/09/07 | ver.1.0.2 | 番外編を追加 |
| 2020/09/09 | ver.1.0.3 | 新バージョン説明を追加 |